

安来市商工会青年部だより

来客万

発行：安来市商工会青年部・責任者：長谷川雅之・編集：活動委員会・連絡先：安来市商工会 (Tel 0854-32-2155)

新年のご挨拶

商工会青年部長 長谷川 雅之
(有長谷川木工)

新年明けましておめでとうございます。

平素は商工会青年部活動に多大なるご高配を頂き誠に有難う御座います。新年に当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年の五月の総会において青年部長に就任致しまして半年が経ちました。その責任と多忙さに歴代の部長様の大変なご苦労と努力を感じ敬服するところであります。そんな中、昨年特に私の心に残った事業を三つ紹介いたします。



一つ目は八月十五日、広瀬町三日月公園で行いました盆踊りです。市川委員長を始めとして着々と準備が進み、当日も本番

を迎えるだけになってからの土砂降り。中止決定の決断をいつの段階で下すのかという状況でした。しかしお客さんが一人も来なくても自分たちだけでもやろうという声が高まり、規模縮小も考えつつ雨の中本番をスタートさせました。その雨の中、坂田師匠を始め音響でお世話になった山崎さん、婦人会の皆様方には合羽を着て濡れながら唄を唄い、踊りを踊って頂き大変感動致しました。誠に有難う御座いました。その後

皆さんの熱意が届いたのか雨も小降りになり始め、お客さんも少しずつ増えていき、最後の抽選会の時には雨もやみ大勢の人たちのにぎやかな声の中終了することが出来ました。

二つ目は十一月に開催した広瀬町ふれあい祭です。数十年前産業祭として先輩がスタートされたイベントも、今年の春先の会議では資金難等から開催を中止しようかという声も出ておりました。しかしながら諸団体の皆様や町民の皆様からの今年もやってほしいという声を受け、また交流センターで開催されたふるさと祭との共催と言う形で開催することが出来ました。スタッフの皆様方には連日連夜の準備作業誠にお疲れ様でした。また青年部の店では田部店長、大櫃副店長を始め仕事が忙しい中、また色々なトラブルに会いながらも最後まで立派にやり遂げてくれました。先に述べた二つの事業は私が成年男子として大切にしている事の一つ、結果にとらわれず最後まであきら

めない心」を見事に成し遂げてくれました。本当にすばらしく、良い仕事を見せて頂きました。まさにあの四〇〇年前の先輩たちの精神が現在も受け継がれているんだなと感じました。

三つ目は広瀬町と伯太町の連帯です。春のチューリップ祭、夏の祇園祭、母里祭、秋のふれあい祭はその代表的なものです。お互いの町のイベントを助け合っていると、今まで自分たちの町の中だけでは気づかなかった事が見えてきて大変勉強になります。個人的には「動」の祇園祭、「静」の母里祭はおたがい顔はかなり違うのに、どちらも本当に美しい日本の風景だなと感じました。特に広瀬町出身の私としては母里祭のアウトホーム感が大変居心地良く、来年もぜひお手伝いに行きたいと感じました。皆さんも機会がありましたらぜひお互いの町の祭を実感してみてください。

話は変わりますが、今年我々安来市商工会青年部は延べ五十周年を迎えます。五十年前に県内の先陣を切って広瀬町商工会青年部が発足し、数年後伯太町にも発足、現在の安来市商工会青年部に受け継がれました。五十年前からの先輩たちの情熱と魂を受け継ぎ、現在の責任と実行を行い、未来への継承と希望という思いを常に意識しながらこれからも邁進して参ります。

最後になりましたが、広瀬町と伯太町の皆さん、自分たちの町はこれからどうなると思われませんか？ 安心して下さい。二つの町はこれから必ず今より元気になります。私と共に活動している安来市商工会青年部メンバーを見るとそう感じます。ですからどうかこれからの町で夢や希望を描いていってください。我々も町民の皆様方に負けない様切磋琢磨して参る所存です。どうかこれからも我々商工会青年部にこれまで以上の叱咤激励頂きます様宜しくお願い申し上げます。

活動報告

雨降って絆深まる

市川修平

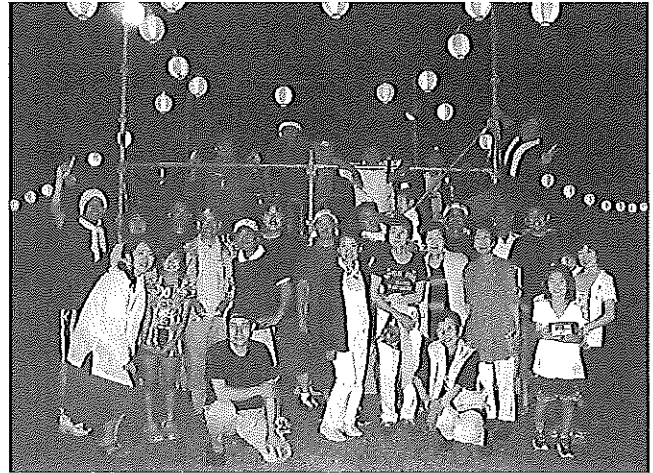
(筒フोट文真いちかわ)



新年明けましておめでとうございます。昨年の八月十五日に行われた広瀬盆踊りまつりで実行委員長を務めさせていただきました。伝統ある広瀬盆踊りまつりをどう盛り上げ、まとめていくか内心ものすごい不安とプレッシャーを感じておりました。子供の頃、なにげなく参加していた盆踊りは年々規模が縮小していき、参加人数も減ってきた様に思います。ただ参加していた頃と違い、商工会青年部に入部してから直接的にかかわる様になり、盆踊りを根絶やす事の出来ない広瀬の伝統行事の一つだなどつくづく痛感しました。歌や踊りは、坂田師匠・広瀬地区婦人会さん

のご協力のもと、子供たちも集まって練習しました。「そろた そろたの♪」これは五大寺(こだいじ)と呼ばれる歌の歌い出しで、その他に三五六さん(さんごろさん)とありますが、それぞれ独特のリズムがある。僕も四年程練習しましたが補助なしではなかなかうまく歌えません(泣)。先輩方は喉を鳴らし、得意げに歌いあげられるその姿に憧れを感じたのは僕だけでしょうか(笑)。そもそも、お盆にいろいろなイベントがあるのは安来地区だけでしょか?盆野球に盆踊りと家の手伝いもそこそこに出ていくばかりで本当に家族の皆には感謝感謝です。

当日をむかえ、空を見上げるとなにやら怪しげな空模様。天気予報でもあまり期待出来ない様な予報を見て「予報は予報、雨なんか降るもんか!」と、自分に言い聞かせて午前中の準備に向かいました。準備には昼までかかり、ここまでは順調に作業が進み、後は本番をむかえるだけ(ここまではまだ晴れ)。高校球児達は甲子園という大舞台で白球と夢を追いかけている中、僕は天気の話だけが気になり集合時間より二時間も早く現場に着きました。「ザーツツ」やはり予報通りか。どうしよう…。いろいろと考えても時間は待つてくれない。心配して皆が早めに集まって来た。各方面より予定通りやるのか、中止にするのか決断を迫られ頭の中で例年、雨で中止になった事のないこの盆踊りを簡単に中止にしているものだろうか、広瀬の子供たち大人たちが楽しみにしているこの盆踊りを。その時だった。一人、テントを出て集まってくれたみんなの顔を見ると「お前に任せる」というような目をしていて。不安が安堵な気持ちに変わった。「盆踊りやりますよ!」そう言う。「よしっ、やろう!」皆が答えてくれた。正直うれしかった。少しづつ雨も弱くなり、集まった人たちだけで踊り始める。と闇夜の中に光る玉が上がった。それをきっかけに降り続いてきた雨が上がり、盆踊りを楽しみにしていた町民の方々や、帰省中のファミリー達が集まり始めてきました。思っていた通りにはすべてがうまくいかな



かったけど、踊り・歌・笑顔が一つになり最後の抽選会までやりとげる事ができました。今回、盆踊りという一つの事業を通じて、自分としてたくさんの物を得る事が出来ました。そして、一人ひとりが支え合い伝統を継承していく中で、子供から年配の先輩方がふれ合い、地元でしか味わう事の出来ない行事であるという事を改めて認識しました。世の中にはいじめ、ひきこもり、うつ病など悪しき流れが蔓延していますが、素直で明るく人なつっこい子供たちを育て、見守っていく為にもそして、伝統継承を永く継続していく為にも今後とも人力を尽くしていきたいと思えます。

最後に、多忙の中をたくさんの方々にご協力していただきましたことを心より感謝したいと思います。ありがとうございます。今年は何も申さず、運よく次に駒を進めることとなりましたが、県大会に臨むにあたり内容の整理が必要不可欠、要練習と

商工会青年部県大会

田淵一真

(櫛大谷屋たみ店)

新年あけましておめでとうございます。昨年は皆様にとりましてどのような年だったでしょうか?昨年もこの様に問いかけたような気もしますがどうぞお気になさらずに…。私にとって昨年は「羽はたいた」または「歩」の一年でした。ただし実際に「飛翔」出来たかは別にして公私ともに色々ありましたが、印象深い商工会活動について触れてみたいと思います。

我々、商工会青年部の活動の一つとして研修大会というものがございまして、そしてその大会には「主張発表」という大イベント、まさに若手にとつての登竜門が待ち構えています。各地区の一名ずつ選出され評価の一番良かった発表者が、ブロック大会・県大会・中四国大会・全国大会とステップアップするという過酷な大会。皆さんはどうか存知上げませんが、なかなか畏まって主張なんか出来るものじゃないですか。(苦笑) いつ来るものやらとドキドキしながら過ごしていたわけですが昨年ついにまわって来まして気持ちとして「やるからには!」なのですが、なにしろ筆不精な私は原稿が一向に進みません。

いつの間にかブロック大会の当日になります。先輩方には「どうだ?」と聞かれませんが、どうにも「どうでしょう?」と聞き返す始末、ただ私としてはこんなご時勢だからこそ忘れてはいけない「希望」「元氣」を自分なりに訴えかけようと心に決めておりました。

結果から申しますと、運よく次に駒を進めることとなりましたが、県大会に臨むにあたり内容の整理が必要不可欠、要練習と

課題も浮き彫りになったわけでございます。大会中はとても大きな収穫もありました。大会中は緊張で口数少ない好敵手発表者からの応援の言葉、懇親会での雲東ブロック部員皆々からの同調、励ましの言葉、そして大会を通じて応援、声援を送って下さった安来市商工会青年部の皆さん、とてもとても嬉しく心強く感じました。同時の私にはブロックを背負うという責任も心に刻むに至りました。

夏の多忙さに追われ県大会の当日がやって来ます。前回では三分だった発表時間も一〇分に大幅に延長されて出場選手も各地区を勝ち抜いた強豪です。相手に不足はありません。むしろ自分に不足があります。恥ずかしながら一〇分なんて文章は見当が付きません。そんな原稿を暗記する自信もありません。それでも方法が在る筈と思つた私は決めた入口から入って間はちよつとしたモチーフを辿って決めた出口から出るという方法を試みました。それに丸暗記した文章はいくら自分の執筆であつてもその場の自分の言葉にするのは本当に難しいことと実感するからこそ内容を胸に刻み登壇しました。「元氣」は変わらず、今だから変わらなれないこと、私たちの可能性、今回も訴えよう、只々訴えよう、それが自分の出来る事だ。

今回も結果から申します、順位としては惨敗でした。自覚もあつたのですが内容の纏りがとても悪く飛び道具的な発表になつたことは否めませんでした。自分の至らなさによる結果なのですが今でも悔しい思いがあります。

応援して下さいました商工会、商工会員の方々、声援を下さった雲東ブロックの皆さん、遥々応援に駆けつけて下さった青年部の先輩方には申し訳なく思います。ただ感謝、感謝の気持ちです。こうして私は多くの課題と感謝を夏の商工会活動の思い出にする

ことが出来ました。昨年は「羽ばたけど大きくは飛翔せず」しかし前向きに考えれば「羽ばたかなければ飛翔もない」とも言える筈です、「千里の道も一歩から」。昨年、共に歩いて下さった方々、支えて下さった方々、ありがとうございました。今年も宜しく願います。本年が皆様にとりまして飛躍の年になりますよう心よりお祈りいたします。

ふれあい祭

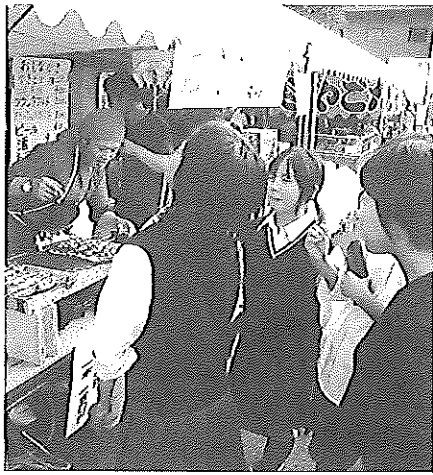
田部 博朗

(田部石材株式会社)

皆さんこんにちは。去年十一月にふれあい祭の店長をさせて頂きました、田部石材(株)の田部博朗です。

今回のふれあい祭は、場所や内容が例年とは違い、何と言っても広瀬中央交流センターさんとの夢の「ゴラボ」で実現した、「ふれあい祭&ふるさと祭」という形でのイベントでした。

もちろん初めての事なので、どれだけ人が来てくれるのか分からないし、当日の天



気や、もし全然売れなかつたらとか色々考えていたら、メニューもなかなか決められずにいました。

そんなやる前から弱気の僕に部長が、「失敗してもいいけん、思っきりやれ!!」と一言。

祭の三週間前くらいにやつとメニューも決まりました。

店のメニューは、焼き鳥と焼きそばで、メインが二つと言うかなり思いついた感じ、それも焼き鳥の方は、鶏肉をさばいて串に刺したり、焼けた串は、保温用に鳥石という石で手作りした石板を使用したりと、結構こだわりました。するとこれだけの事を一人で出来るわけもなく、買い出しはほぼ副店長の大櫃さんにしてもらいました。大櫃さんありがとう。

そして最後の準備です。祭の前日に頼んであった鶏肉を取りに行くとき、何か量が、そして恐る恐る伝票を見てみると、何と!!予測して頼んだ数の倍の数が書いてあり、量ももちろん倍来ちゃってました。完全に僕のミスです。さすがに凹みました。部室に帰ると串作りを手伝おうと先輩方が待っておられました。そして、その事を

伝えると、「じゃあ頑張つて作るう。」と皆さん結構軽い感じで串作りを手伝ってくれて、凄く嬉しかったです。

さて、やつと当日です。今回は、午前中に準備だったので、一日目は三時からオープンでした。しかも夜は交流センターにて、広瀬町内対抗の自慢大会があり、閉店は十時頃。これも初めての試みと言う事で、僕も時間いっぱい鶏肉を焼きました。一日目の感想は、正直、必死こいてやっていたので、よく覚えていません。ただ閉店後に部室に戻り、残りの鶏肉を全部串に刺しました。この日も手伝ってくれて、助かった事だけは覚えてます。

二日目は朝から開店です。この日も交流センターではイベントが沢山あり朝から人が大勢集まっています。店も好調なスタート。昼前になると、焼きそば、焼き鳥がもの凄い勢いで売れ、焼きそばも予定の倍届いた焼き鳥も完売!!

来ていただいたお客様、ありがとうございます。それと、文句一つ言わずに僕のがままに付き合っていたいただき本当にありがとうございます。

今回店長をしてみて、ホントに大変でした。けど、その分凄く達成感がありました。今回初めから、失敗ばかりでしたが、この経験が何かの役に立つ日が絶対に来ると思うので、大切にしたいと思えます。



地域の伝統行事

母里祇園祭りに来てごしないよ (^o^)/

清水 充裕
(清水商会)

母里祇園祭は毎年伯太町の母里地区で行われている伝統的なお祭りです。昔ながらの家屋が立ち並び、いつもは静かでゆったりとした空気が漂っている伯太町母里。しかしこの7月25日の祇園祭の日は違います。いつもの緩やかな空気が一変、熱い熱気と人々の賑やかな声で溢れかえります！ 祭りのメイン通りを行きかう人々の手にはたこ焼きにイカ焼き、金魚すくいの袋や当てくじの可愛い景品、カキ氷などなど……お祭りといえばたくさんのお店はもちろん楽しみの一つです。しかし！ 母里祭りの見所は出店だけではありません。今回はその一部をご紹介させていただきます!!

祭は25日の夕方、伯太文化学習館前にて行われる実行委

員会のあいさつと地元伯太中学校吹奏楽部のファンファーレで始まります。それに続いて母里小学校の鼓笛隊のパレードが出発します。カラフルな鼓笛隊の衣装を着てメイン通りを元気に行進する姿は本当に可愛らしいです(^_^)それが終わるとこんどは吹奏楽部の演奏が始まります。身近なPOPSから演歌まで、たくさんの方々に楽しんで頂ける演奏内容は一見の価値アリです！ぜひ聞いてみてください！

他にも商工会青年部による子供神輿や伯太太鼓・母里っ子太鼓の演奏とたくさん催し物が次々に行われます。

祭りを通して伯太っ子の元気に頑張っている姿を見ることが出来る…それが母里祇園祭りの一番の魅力…なのかもしれません(笑)そして母里祇園祭りの最大の見せ場と言えはやはり約1200発の打ち上げ花火!! 高いビルや明るい街の光に邪魔されないこの広い伯太の夜空に打ち上げられるたくさんの花火の光は本当に見ものです。普段は静かな星が見える母里の夜がこの日はかりはたくさんの鮮やかな光に包まれます。ほかにまだまだ見所いっぱいなのですが…あとは実際に祭りに来てからのお楽しみ、ということで(^_^)一人でも多くの方のご来場、楽しみに待っています!!!!

昨年度の活動記録

- 1月1日(木) ミニコミ誌第21号発刊
- 1月31日(土) 新年会(於・荒島屋)
- 2月14日(土) 商工会広瀬地区研修会(於・社会福祉センター)
- 3月8日(日) 広瀬交流センター祭りリハーサル
- 3月13日(金) 三地区交流会(於・安来節演芸館)
- 3月15日(日) 広瀬交流センター祭り
- 4月4・5日(土・日) おひな祭り
- 4月11・12日(土・日) 伯太チューリップ祭り
- 5月9日(土) 通常総会(於・富田山荘)
- 5月10日(日) 県青連指導者研修・総会
- 6月28日(日) 雲東フロック大会(於・玉造温泉ゆ〜ゆ)
- 8月7日(金) 七夕祭り
- 8月15日(土) 盆踊り
- 8月29・30日(土・日) 県大会・スポーツ交流会(於・島根県立大学)
- 9月23日(水) 三地区交流会(於・十神小学校)
- 9月29日〜10月27日 販売促進塾
- 10月12日(月) 温泉まつり(於・富田山荘)
- 11月7・8日(土・日) 広瀬ふれあい祭
- 12月15日(火) 忘年会

安来市商工会青年部名簿

氏名	事業所	氏名	事業所	氏名	事業所
岩田 正利	岩田建具店	吉村 努	吉村司法書士事務所	近藤 剛	(株)コンドウ
祖田 秀人	祖田風月堂	岩崎 正紀	(株)伯太水工務店	田淵 一真	大谷屋たみ店
渡辺 太郎	(株)わたなべ牧場	近藤 巨一	(株)近藤建興	石井 隆之	(株)石井電気商会
古曳 健	古曳タイル	中村 健宏	(株)島根ナカムラ	市川 修平	(株)フォト文具のいちかわ
喜多川 順	広瀬装飾	平野 洋一	平野屋商店	天野 尚	天野紺屋
清水 充裕	清水商会	福岡 徹	福岡建築設計	足立 朋之	田部石材店 (株)
藤井 博之	(株)ふじい写真店	太田 直宏	賛助会員	村本 剛	(株)村本組
長谷川 雅之	(株)長谷川木工	井上 一	(株)井上軽自動車	長谷川 貴彦	長谷川製パン (株)
祖田 純一	祖田木工所	中村 康明	(株)中村商店	池田 誠	(株)ケンセツ
宇田川 豪	(株)うだがわ	吉田 智則	吉田酒造 (株)	山根 智	(株)喜多川板金
古山 広泰	(株)フルヤマ	大櫃 晋哉	伊勢屋石材店	田部 博朗	田部石材店 (株)
間 祐治	賛助会員	上田 耕司	うゑだ工芸		
実重 博之	(株)ウイズ	吉田 拓雄	吉田畳店		